

府議会議員って日々“なに”をしているの？

One Day Schedule

ある日の田中しほ

06:00 起床

まずは子どもに朝ごはんを食べさせます。

07:00 朝の勉強

新聞・書籍・資料を読み込み、
委員会で議論すべき内容を検討します。

08:00 自宅発

七条大宮の事務所へ行く途中、
保育園によって子どもを預けます。

08:30 情報収集

事務所でリモート勉強会に参加、
専門家のレクチャーを受けながら、
最新情報を集めたりします。

09:30 面談

事務所にいられた地元の方から、
ご意見ご要望を伺います。

10:30 移動

京都府庁に到着したら、
委員会で質問する準備をします。

11:30 会議

国民民主党と日本維新の会で構成する、
議会の会派ミーティングに出席し、
いろんな情報を共有します。

12:30 昼食

議員の仲間と昼食をとりながら、
意見交換するのは貴重な時間です。

13:30 委員会

危機管理・健康福祉常任委員会に出席し、
子育て支援について担当課の方々へ、
質問するのは最も大切な仕事です。

16:00 午後の勉強

図書館で資料を読み、
自身の政策テーマに関する知識を、
増すことに努めています。

18:30 帰宅

保育園へ子どもを迎えに行ってから、
帰宅すると夫と一緒に夕食をつくります。

19:00 夕食

家族そろっての夕食後、
地元の方とお会いする日もあります。

20:00 報告・連絡・相談

府議会や衆議院の先輩方へ電話したり、
夫と今日のことを話したり、
“報連相”していると夜が更けます。

21:30 夜の勉強

自身の政策に関係ある論文や書籍を、
2時間じっくり読み込みます。

23:30 就寝

翌日の議員活動に備え、
遅くとも24時までに就寝するのは、
自分を律する日課のひとつです。



Shiho Press

京都府議会〈下京区〉選出議員 田中しほ 府議会ニュース

発行日／2023年9月00日

田中しほ事務所 〒600-8267 京都市下京区御器屋町51-3（七条大宮上る西側1階） Tel.070-8468-8865

田中しほ通信

Vol.01

2023年9月

約束します!!

子育て世代の声を
京都府議会にしっかり届け
これまで変わらなかった
京都府政を変えること

0歳児
の
ママ 29歳

今年4月の統一地方選挙に際し、下京区で初当選した京都府議会議員の“田中しほ”です。その際の一票それぞれに「若い力で京都をより良くしてほしい」というお気持ちが込められていることを強く自覚しています。また、こうした皆さまのご期待は「京都の素晴らしいさを保って守りながら取り組む政治構造の徹底改革」に向けた叱咤激励ともとらえ、日々モチベーションの向上につなげています。

まだ府議会議員としての活動は始まったばかりですが、下京区の皆さまに「選んで良かった」と思ってもらえるよう、「子育て世代の声を京都府議会にしっかり届ける」と「これまで変わらなかった京都府政を変える」ことを今あらためてお約束し、古い政治に染まらない新しい発想の政治に取り組む“田中しほ”へ、ご意見ご要望あればお気軽にお声がけください。

＼ご意見・ご要望など、お気軽にご連絡ください／

京都府議会〈下京区〉選出議員

田中しほ事務所

〒600-8267 京都市下京区御器屋町51-3（七条大宮上る西側1階）

Tel.070-8468-8865 Mail tanaka0721shiho333@yahoo.co.jp

公式X（エックス：旧ツイッター）@ishin_tanaka_s



＼田中しほってどんな人？／

プロフィール

1994年下京区（豊園学区）生まれ（29歳）。京都カトリック信愛幼稚園、洛央小学校、下京中学校、日吉ヶ丘高等学校を経て進んだ京都府医師会看護専門学校の卒業後、新京都南病院に入職。集中治療室（ICU）看護師として勤務する一方、カンボジアの支援活動、地域こども食堂の運営に携わる。2022年11月に第一子を出産、剣道・弓道の2段をもつ“0歳児”のママでもある。

2023年4月～7月

／ 府議会活動より ／

報告 1

危機管理・健康福祉常任委員会

- 今年4月の統一地方選挙後、初めての京都府議会となる6月定例会が6月16日から7月5日に開催されました。
- その際、わたし“田中しほ”は防災や医療・福祉について議論する「危機管理・健康福祉常任委員会」に所属。看護師としての経験や専門性を活かし、皆さまが日々感じておられる医療・福祉に関する疑問や課題を議会に届けました。
- あわせて医療を必要とされる方々が安心できる環境づくりに向けて、医療従事者の待遇改善に関する議論も進めました。

報告 2

子育て環境の充実に関する特別委員会

- さらに「子育て環境の充実に関する特別委員会」にも所属。0歳児を抱える共働き家庭の当事者として「子育てしやすい環境づくり」に結びつく意見を府政に届けさせていただきました。
- こうした議論が“成果”となるには時間も必要ですし、馴れあいから抜け出せない政治や行政の壁が分厚いのも事実ですが、絶対にあきらめず、子ども“真ん中”社会の実現に向けた活動を続けていきます。



●京都府議会「日本維新の会」議員たち



●初出席した京都府議会6月定例会

2023年4月～7月

／ 議員活動より ／

報告 3

身を切る改革の断行

- 議員報酬のカットを訴える日本維新の会・京都府議会議員団では、それぞれが手取り相当額の20%を党経由で全国の被災地に寄付させてもらっています。
- これは行政のムダをなくし、より良いサービスを効率的に提供することをめざす「行政改革」に向けて、それを主導する私たち議員が自ら“身を切る改革”を断行する覚悟をお示しするためでもあり、こうした取り組みは今後も加速していこうと考えています。

Topics

京都府庁の保育ルームを利用させてもらいました

京都府庁には各種申請の手続きなどで来庁される方が利用できる「保育ルーム」があり、わたし“田中しほ”も定例会の出席に際し、利用させていただきました。

また、京都府内産のヒノキを使っている保育ルームは広く明るく開放的で清潔感も申し分なく、保育士さんは臨時派遣ですが安心して子どもを預けられます。子育て中の皆さんも議会の傍聴などに際し、利用されることをおすすめします。

その一方、利用の1週間前までに予約する必要がある、当事者として申し込みの手続きも簡単ではないと感じました。こうしたことについても声を大にして改善を求めていると思っています。



生後6か月～
就学前の乳幼児
対象

京都府庁・保育ルームの詳細

<https://www.pref.kyoto.jp/josei/hoikuroom.html>

